

金融機関でも相次ぐ非正規切り

大手電機産業を中心に大規模なリストラが進んでいます。12万人を超えるといわれる人員削減と、工場閉鎖・縮小・売却によって雇用と地域経済が深刻な危機に直面しています。主な電機会社で27兆円もの内部留保がありながら、またもや収益悪化を口実に労働者の首を切るという、経営者の身勝手・横暴さが際立っています。その陰に隠れて大手金融機関でも、ここへ来て非正規切りが相次ぎ、雇用の確保を求めて金融ユニオンに加入して闘いに立ち上がっています。

富士火災

非正規労働者の雇い止めは「自然減」？

本年9月末で富士火災から不当に契約更新を拒否された大阪のMさん(57歳)は、2004年から契約期間1年・定年を65歳とする地域限定社員として入社、契約も反復更新されてきました。

雇い止めの理由は「経営環境が厳しいので要員数を削減する」というものです。人員削減は「自然減」で対応するとの方針ですが、非正規労働者については、「雇い止めが自然減」と開き直っています。

Mさんは、「金融ユニオン」と「全損保富士支部」に加入し、両組合が共同して団体交渉や社前ビラ配布に取り組んでいます。

皆さんのご支援をよろしくお願いします。



新入職員を招いて組合学校

(京都北都従組)

今年、新入職員13人全員を仲間に迎え入れた京都北都信金従組では、9月29日、西舞鶴で新入職員3名と執行部を中心に11人が参加して2年ぶりに組合学校を開催しました。この日の組合学校では、講師として金融労連・田畑書記長が、「自分の職場と健康を守るために」と題して約1時間講演を行いました。

講演では、まず過酷な就職活動を経て、入庫された新入職員をねぎらった後、「賃金が会社のもうけで決まるわけではないこと」「賃金は働く・雇うという契約に

三菱UFJ信託銀行

「業務の効率化」の一言で派遣切り

三菱UFJ信託銀行の大阪証券代行部に派遣されて2年半のAさんは、これまで3カ月ごとに契約更新されてきましたが、今年9月末に「業務の効率化」を理由に派遣契約を打ち切られました。

Aさんは金融ユニオンに加入して、雇い止めの撤回を求めて闘っています。金融ユニオンは、派遣先の三菱UFJ信託銀行と派遣元の東京海上日動キャリアサービスと団体交渉を行ないました。団体交渉では、Aさんの仕事が派遣契約に示されている専門業務に該当せず、一般業務であることや、派遣先による事前面接が行なわれていた派遣法違反の事実も明らかになり、9月27日、大阪労働局に違法派遣として是正指導を求める申告を行ない、同日付で受理されています。Aさんは金融ユニオンの仲間と一緒に、三菱UFJ信託銀行大阪支店前で「派遣労働者はゴミではなく人間です」と題するビラを配布するなど、連日奮闘しています。

「業務の効率化」と会社が決めれば、自由に労働者のクビを切って路頭に迷わせ、家族を含めた人生まで破壊してしまうことがOKなのでしょうか？

(左の写真は、9/12 富士火災大阪本社前でのビラ配布)

基づいて支払われるもの」「良い仕事はチームワークから生まれること」などを、自らの入院体験や実際の仕組みなどを示して説明。その後、執行部からそれぞれ、機関紙「豪快ニュース」で見る京都北都信金従組の姿や、新人事制度の概要と問題点、労働組合の共済活動などについて説明が行なわれました。

終了後には、地元の居酒屋で新入職員も参加して、「就活に続く婚活の進め方」や「休日の過ごし方」などを中心に話が尽きず、大阪での組合会議を終えてとんぼ帰りしてきた近畿地協・福井事務局長も交えて交流会を行いました。

悪用目立つ「定性評価」

三井住友信託銀行

2010年3月、あおぞら銀行・住友信託銀行・日本郵政などで金融リスク商品のノルマ未達成によって、有期雇用契約社員への契約更新が行われない問題を、日本共産党の大門議員が国会で追及しました。

それ以降、多くの金融機関が、販売数字のノルマが未達成でも、「定性評価」（人物評価等）などを加味して「首切り」救済制度をとりいれました。

滋賀発

9月30日、大津職場革新懇主催の講演会に滋賀銀行従業員組合から組合員が参加しました。住民サービスを切り捨てる一方、市職員に対する思想調査アンケートをはじめ異常な労働組合攻撃を続けている橋下・維新の会のねらいと本質について、「大阪市を

講演会「大阪市役所からの告発」

の女性は、これまで「普通」だった「定性評価」が、今回、パワハラを組合で問題にした腹いせとしか思えない異常な低評価で賃金ダウンを余儀なくされています。

金融ユニオンでは、団体交渉で低評価の理由を問いたしましたが、まともなフィードバックさえ行なわれていない実態が浮き彫りになっています。「定性評価」の悪用には、十分監視を強める必要があります。

金融庁も「成果だけが過度に労働条件に連動しないよう」金融機関に注意喚起を行ってきました。

しかしながら、「普通にやっていたら救済される」はずの「定性評価」が最近では、「お気に入り人事」評価にすりかえられ、「服装」や「協調性」

よくする会 事務局次長・成瀬明彦さんの講演を聞き学習しました。

大阪の出来事は対岸の火事ではなく、滋賀でも起こりうるのだと思います。滋賀からも大阪を支援できるよう学習に、行動に取り組んでいきたいと思えます。

カマヤん 島の若者たち ありむら潜



実話である。誰か行ってあげて



近畿地協第7回定期大会のご案内

- 日時 2012年10月27日(土)
11時～16時
- 場所 大津市「アヤハレークサイドホテル」
- 議題
- 一、2012年度たたかひの総括
 - 一、2013年度運動方針
 - 一、決算・予算
 - 一、役員選挙
 - 一、その他

2013年度金融労連近畿地協役員選挙告示

選挙管理委員長 中島康隆

2013年度金融労連近畿地協役員選挙について下記の通り告示します。

記

- 一、投票日 2012年10月27日(土)
- 一、場所 近畿地協第7回定期大会会場
- 一、定員 議長 1名
副議長 4名
事務局長 1名
事務局次長 2名
会計監事 2名
- 一、立候補締め切り 10月27日(土)正午
- 一、文書をもって選挙管理委員長宛届け出ること